

事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司まちづくり協議会)
-----	-------------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	長沢池周辺を地域内外の憩いの場として整備		
	事業名	環境美化事業	決算額	272,935円
②	視点	後世に残すべく貴重な資源の発掘		
	事業名	地域資源PR事業	決算額	108,900円
③	視点	地区民全員が気軽に参加できる行事の推進		
	事業名	地域振興・交流事業	決算額	331,850円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①地域の子どもから高齢者までが参加して、芝桜の草取りや、松島のツツジの周辺の草刈り、枯葉、枯れ枝の撤去を行うなど、環境美化活動を通して三世代の交流が図れた。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、恒例の豚汁等のふるまいができなかった。	◎
②「古代の造幣局 周防鑄銭司跡」をテーマとして、国史跡周防鑄銭司跡や、長年大寶、承和昌寶、木組井戸など、周防鑄銭司ゆかりの写真及び地域行事日程を載せた地域カレンダーを作成し地域内に配付した。地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすく、同時に地域内の貴重な史跡について若い世代に再認識してもらえた。	◎
③地域内の活性化を目的とした地域行事への支援、世代間の連携や情報の共有化、また、地区内の住民どうしが交流を深める活動をおこなった。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第2次地域づくり5カ年計画の最終の年であったが、新型コロナウイルスの影響により風鎮祭など、地区民が交流するような事業を中止することとなった。その中で、三密を避ける工夫をして、三世代交流事業や防災訓練などを計画通りに実施できたことは、次年度以降の事業を進める上で大いに参考となった。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,955,868円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員2名</p> <p>(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費</p> <p>(成果・評価) 事務局長1名、事務局員2名で協力して地域づくり業務にあたり、効率的かつ確実な事務局運営を行うことができた。</p> <p>(今後に向けて) 各部会事業の素案作りを事務局が行っていたが、部会が中心となって実施出来るように事務局がサポートを行う。そのうえで部会が主体性をもって事業の推進を行う。</p>

(2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	165,013円
事業概要	<p>(実施内容) ①広報誌発行 ②ホームページの内容充実</p> <p>(実施時期) ①通年 ②通年</p> <p>(参加人数) ①750世帯・企業51社</p> <p>(成果) ①自治会通信7回発行・自治会報(總會報告書)1回発行。 ②ホームページへの自治会通信アップロード(7回)</p> <p>(評価) 地域づくりに関する活動内容を地区民に周知してもらうため、広報誌やホームページを活用し、理解と協力が得られた。</p> <p>(今後に向けて) 分かりやすく、楽しんで読んでもらえる広報誌作成のため、地域に密着した写真などの情報収集や広報誌作成のための勉強会等にも積極的に参加していく。</p>

事業名	地域振興・交流事業
事業費	331,850円
事業概要	<p>(実施内容) ①地域行事等の運営の支援 ②地域と企業との交流事業開催(中止)</p> <p>(実施時期) ①11月 ②1月(中止)</p> <p>(参加人数) ①1200人</p> <p>(成果) ①新しい交流センターで、初の開催となったクリスマスイルミネーションフェスティバルには子供を中心に約180人の参加があった。その後12月1日から翌年1月11日までイルミネーションを点灯し、地域内外から多くの人が訪れたことにより地域が盛り上がった。 ②新型コロナウイルス感染防止のため中止。</p> <p>(評価) ①コロナ禍に有っても三密にならないよう、イルミネーションの飾付を屋外の屋根や国旗掲揚ポールなどに行なったことで、恒例となっているクリスマスイルミネーションフェスティバルが開催でき、イルミネーションの飾付や、カウントダウンのイベントなどを通じて三世代交流が図れた。</p> <p>(今後に向けて) ①子どもたちもイルミネーションの飾付けが楽しめるように、高所から地上に飾付を変更して子どもたちが自由に飾り付けられるように工夫する。</p>

(3) 地域福祉

事業名	教育福祉関係事業
事業費	291,481円
事業概要	<p>(実施内容) 子育て関連・教育機関支援 (実施時期) 通年 (参加人数) 4団体</p> <p>(成果) 子どもの自立支援をはじめ、子育て環境の整備、幼稚園・小中学校と地域との連携事業の支援を行った。</p> <p>(評価) 子育て世代の交流の場作りが出来た。</p> <p>(今後に向けて) 更に多くの子育て世代の交流の場作りと、幼稚園・小中学校と地域の連携を深めていきたい。</p>

(4) 安心・安全

事業名	防犯対策推進事業
事業費	197,772円
事業概要	<p>(実施内容) 防犯灯維持管理等 (実施時期) 通年 (参加人数) 81灯及び申請件数</p> <p>(成果) 地域内防犯灯の維持・継続ができた。</p> <p>(評価) 地域内の防犯灯は正常に機能を発揮し、地域住民の安心安全につながっている。</p> <p>(今後に向けて) 防犯灯が新たに必要な所は無いか、また、不要になった防犯灯が無いかについて地域からの情報収集に努める。</p>

事業名	防災活動推進事業
事業費	2,400円
事業概要	<p>(実施内容) 防災訓練の実施 (実施時期) 11月 (参加人数) 83人</p> <p>(成果) 二巡目、2地区目の訓練であり、前年度の反省を活かして実施できた。新型コロナの影響により単位自治会の避難所への避難者を、単位自治会長、班長、自主防災関係者に限定して開催した。</p> <p>(評価) 単位自治会が主体的に災害想定を行い、緊急連絡網の整備、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、それぞれの地区で考えた防災訓練になった。</p> <p>(今後に向けて) 新型コロナの影響により、非常炊出し訓練が実施できなかった。新型コロナの終息を待って単位自治会毎に非常炊出し訓練を実施する。</p>

事業名	交通安全推進事業
事業費	12,330円
事業概要	<p>(実施内容)秋の全国交通安全運動期間中に、地元企業へ交通安全マスコット等の配布をするとともに、交通安全への協力を呼び掛けた。</p> <p>(実施時期)9月</p> <p>(参加人数)3人</p> <p>(成果)地域サークルの協力により製作した、交通安全マスコット、交通安全ストラップを地元企業に配布し、交通事故防止に向けた活動要請を行った。</p> <p>(評価)地元企業への継続的な交通事故防止の協力要請をすることで、交通安全意識の高揚が図れた。</p> <p>(今後に向けて)今後、鑄銭司第2団地ができることから、交通安全活動をより一層活発に実施する。</p>

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	4,354,000円
事業概要	<p>(実施内容)単位自治会からの要望申請で道路補修工事及び水路工事等に対応。</p> <p>(実施時期)通年</p> <p>(成果)生活道路の舗装3件、農業用水路の改修5件</p> <p>(評価)生活道路の劣化及び老朽化した水路の修復が実施できた。</p> <p>(今後に向けて)地域内の要望を把握し、随時対応していく。</p>

事業名	環境美化運動事業
事業費	272,935円
事業概要	<p>(実施内容)①地域一斉清掃活動の推進 ②芝桜の管理など花づくり活動の推進</p> <p>(実施時期)①11月 ②9月、2月</p> <p>(参加人数)①50人 ②8人、180人</p> <p>(成果)①通学路や歩道に放置されたゴミや空き缶等の回収を実施した。 ②長沢池の芝桜の草取り及び、松島の枯れ枝や枯葉の回収を実施した。</p> <p>(評価)①環境美化活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 ②地域の子どもから高齢者までが参加して、芝桜の植栽や草取りを行うなど、三世代交流が図れた。</p> <p>(今後に向けて)鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえ、また訪れてもらえるように、美化活動・花のある地域づくりを継続する。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	108,900円
事業概要	<p>(実施内容) 地域行事と地域資源を載せたカレンダーの制作 (実施時期) 3月 (参加人数) 750世帯・51社・14施設</p> <p>(成果) 国史跡周防鑄銭司跡や、長年大寶、承和昌寶、木組井戸など、周防鑄銭司ゆかりの写真及び地域行事日程を記載したカレンダーを作成し地域内に配布した。</p> <p>(評価) 地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすく、同時に地域内の史跡について若い世代に再認識してもらえた。</p> <p>(今後に向けて) 地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に参画する人の拡大につなげていく。</p>

事業名	伝統文化の継承事業
事業費	144,093円
事業概要	<p>(実施内容) ①風鎮祭「盆踊りの夕べ」開催 ②伝統芸能伝承活動への支援 (実施時期) ①8月(中止) ②5月～11月 (参加人数) ②80人</p> <p>(成果) ②鑄銭司のみに伝わる「笠踊り」を小学校運動会において披露し、伝承活動の継続と継承者の育成が図れた。</p> <p>(評価) ②鑄銭司小学校の教員、生徒と練習会を開催するなど、伝承活動を継続実施した。</p> <p>(今後に向けて) 運動会やまつりなどで笠踊りをPRする機会を増やし、盆踊り等の交流の場を通じて、地域の貴重な伝統文化の継承を図る。</p>

(7) 地域学習事業

事業名	郷土読本の制作事業
事業費	267,400円
事業概要	<p>(実施内容) 郷土読本「鑄銭司」の増刷。 (実施時期) 4月～3月 (参加人数) 300世帯</p> <p>(成果) 郷土読本「鑄銭司」について、子どもに渡したいとの理由で二冊目の要望が多く、また、転入者にも読んでもらい、鑄銭司を知ってもらう目的から増刷を行った。</p> <p>(評価) 郷土読本「鑄銭司」を子供世代に読んでもらう事により、鑄銭司の史実、変遷などについて理解を深めてもらうことが出来た。</p> <p>(今後に向けて) 鑄銭司小学校で郷土本として活用するとともに、鑄銭司への転入者に対しても郷土読本「鑄銭司」を配布し、地域を知ってもらうとともに、次世代につなぐ取組みを継続する。</p>